



このマークは社会福祉協
議会の「社」を図案化し、
「手をとりあって、明るいま
あわせな社会を建設する姿」
を表現しています。

いわき市 社会福祉協議会だより

第109号

平成26年1月20日発行

編集・発行

社会福祉法人

いわき市社会福祉協議会

広報委員会

いわき市平字菱川町1番地の3

(いわき市社会福祉センター内)

TEL0246-23-3320 FAX0246-35-5031

ホームページ www.iwaki-shakyo.com

メールアドレス master@iwaki-shakyo.com

新年おめでとうござい
ます



年頭のごあいさつ

社会福祉法人いわき市社会福祉協議会

会 長 強 口 暢 子

新年おめでとうござい
ます。

皆様には、すがすがしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃から、本会の福祉活動に温かい御理解と御協力を賜り、心より

感謝申し上げます。

この輝かしい新春にあたり、さらなる飛躍を目指し、役員員一丸と

なり、地域福祉活動に取り組んでまいりますので、旧倍の御支援をお

願いするとともに、皆様の益々の御健勝と御多幸をお祈り申し上げ、

新年のあいさついたします。

湯の岳から望む日の出

目 次

年頭のごあいさつ.....	1
地域は地域で支え合う 小地域福祉活動.....	2～3
ボランティア活動センター通信.....	4～5
日韓共同募金会東日本大震災救援プロジェクト.....	6
社協通信.....	7
地区協議会だより.....	8



社協のイメージキャラクター「ふくみちゃん」

小地域福祉活動



小地域福祉活動とは？

地域の身近な福祉課題を共通テーマとして住民組織が解決に向けて協働しながら進める活動で、この活動の基盤となる福祉コミュニティづくりと住民相互が支え合う自主的な活動が小地域福祉活動です。

本事業では、地域の既存の団体や組織を基盤とし、地域の福祉課題にそった活動計画や援助計画に基づいて、地域福祉活動を進めます。

また、いわき市社会福祉協議会では、「小地域福祉活動指定行政区連絡会」を開催し、指定地区間の交流や情報の交換を図るとともに、さらなる効果的な事業の取組みができるよう支援します。

【主な活動内容】

- ◇交通事故防止運動 ◇子育てサロンの開催 ◇防犯・防火運動 ◇介護講習の開催
- ◇高齢者と子どもの交流活動 ◇介護者リフレッシュの集いの開催 ◇障がい者との交流
- ◇励ましや話し相手などの友愛訪問活動 ◇高齢者ふれあいの集いの開催
- ◇文化・スポーツ活動 ◇介護講習会の開催 ◇草刈りや清掃活動
- ◇地域福祉マップの作成 ◇防災訓練研修会の開催



小地域福祉活動指定行政区連絡会の様子

地区名	自治会・行政区名	指定年度	地区名	自治会・行政区名	指定年度
平	平第36区	24年度～26年度	小川	桐ヶ岡行政区	24年度～26年度
	中央台第一団地区	24年度～26年度		塩田区	24年度～26年度
小名浜	小名浜西5区連絡協議会	24年度～26年度	好間	権現堂・仲組区	25年度～27年度
	玉川町東2区	24年度～26年度		久保・源平野地区	25年度～27年度
勿来	錦町大倉区自治会	24年度～26年度	三和	下三坂区	23年度～25年度
	小名田地区自治会	25年度～27年度		下市萱区	23年度～25年度
常磐	若葉台2区	24年度～26年度	田人	平成16年度で全行政区指定	
	小野田区	25年度～27年度		川前	川前町第3区
内郷	高坂9区	25年度～27年度	川前	川前町第8区	23年度～25年度
	綴第3区	25年度～27年度		久之浜・大久	金ヶ沢区
四倉	四倉町第14区	25年度～27年度	久之浜・大久	小山田区	25年度～27年度
	柳生区	25年度～27年度		合計	23行政区（自治会）
遠野	下根本行政区	23年度～25年度			

▼ 活動紹介 ▼

若葉台2区(常磐) 区長 松本 義一

高齢化が進む中で、地域住民の安全と活性化を図るために、自治会を中心に毎年「地域内環境整備活動」「学童下校時見守り活動」「健康増進ウォーキング大会」などの活動を実施してきました。

自分達が住んでいる地域が清潔で明るくより住みやすい地域になるように、住民同士が積極的に活動を推進しています。



四倉町第14区 区長 鈴木 三雄

14区は、99世帯の区民が暮らしております。震災時には津波の直接の被害は逃れましたが、原発の影響により近隣世帯の多数が避難し、区はゴーストタウン化しました。この時一番感じたことは、いかに近隣同士のコミュニケーションが大事かを知りました。

毎年当地区の雷神社の祭礼も区民が清掃、草刈りそして当日の祭典と協力しながら交流を図っております。



地域は地域で支え合う

皆さんの地域について話し合いませんか？

住民支え合い活動の推進を目的に、市内 13 地区において、『座談会』を開催しています。

現在は、小地域単位で座談会を開催しながら、地域住民をはじめ、区長、行政嘱託員、民生・児童委員等の福祉関係者や消防団、青年会等と連携し、どうすれば「安心して暮らせる地域」になるのかを話し合います。



マップを使って、地域の福祉課題について協議（田之網地区）

地域の課題



10年後もこのままでいられるのかな…。

1. 地域で話し合いの場を持ちましょう！

普段、顔を合わせることがない方も、話す機会となり、地域の課題の共有と解決策に向けての糸口が見えてきます。

2. 継続的に話し合いの場を持ちましょう！

一度で解決策は見つかりません。多様な機関・団体と連携して話し合いを進めることが大切です。

○座談会では、こんな地域の“声”が挙げられました。

- ・住民間での関わりの希薄化
- ・地域行事の減少
- ・地域住民が集まれる場がない
- ・地域の防災意識を高めたいなど

主役は地域の皆さんです！



○座談会には、様々な**団体**が参加しています。

- ・行政、地域包括支援センター
- ・自治会、隣組、青年会、老人会、子ども会、婦人会、消防団など

多くの関係者と連携して座談会を開催（宮地区）

4. 課題解決に向けた取り組み

座談会の中で出た課題について、地域の仕組みづくりや事業として継続的に取り組みます。

3. さまざまな解決策を模索

参加者それぞれが持つ強みを活かして、課題を解決します。

話し合いの形式も“マップ”を使用し、地域理解を深めるなど、多くの手法があります。

まずは、話し合いの場を持ちましょう！

●下根本（遠野）の例

下根本地区では、子ども会を中心に様々な行事を実施してきましたが、子どもの減少により少ないメンバーでの継続もできず、子ども会が解散することになりました。

そこで、この座談会をきっかけに地域住民が話し合いの場（**下根本 絆の会**）を立ち上げ、「地域の中で何ができるか」を住民の方々や青年会などの地域内の既存の団体、そして支所、地区保健福祉センター、地域包括支援センター、社会福祉協議会と一緒に考え、地区行事の復活をすることになりました。「地域交流会」では、絆の会のメンバーが協力し、多くの住民の方々に参加し、餅つき体験や輪投げ、そして抽選会などを実施することができ、素晴らしい思い出になったと区長さんからお話がありました。



ボランティア活動センター通信

傾聴ボランティア養成講座 受講者募集！

ボランティアの第一歩ともいえる、相手の話を「聴く」技法を学び、地域で悩みや寂しさを抱えている方々の話し相手となるボランティアの養成を行います。

今、地域や家庭で求められている「聴き上手」になってみませんか？

- ★日 時：平成26年2月8日（土）、15日（土）
両日ともに10：00～15：00
- ★場 所：いわき市社会福祉センター 5階 大会議室
- ★対 象：全日程受講できる方
- ★定 員：50名（定員になり次第締め切ります）
※応募者が多い場合は、受講経験のない方を優先とさせていただきます。
- ★参加費：無 料
- ★講 師：柳澤 孝主 氏（いわき明星大学現代社会学科教授）
窪田 文子 氏（いわき明星大学心理学科教授）
菅野 昌史 氏（いわき明星大学現代社会学科准教授）
米澤 智秀 氏（全日本仏教青年会救援委員長）

申込み方法

講座・イベント等への申し込みについては、住所・氏名・電話番号をご記入の上、郵送・FAX・Eメール又は電話等でお申込みください。

0246プロジェクト 参加者募集！

いわきのこれからについて考えることをテーマに次の日程で「0246プロジェクト」を開催します。

これまで頑張った、今頑張っている、そして、これからボランティアをしてみようと思う皆さん。

一緒に、いわきのボランティアについて考えてみませんか？

- ★日 時：平成26年3月16日（日）10：00～15：30
- ★場 所：いわき市社会福祉センター 5階 大会議室
- ★参加費：無 料
- ★内 容：1) ボランティア交流会
ボランティアにふれてみよう(活動紹介)
2) 記念講演
「家族のつながり、今大切なこと」
講師：杉尾 秀哉 氏
(TBS報道局解説・専門記者室長)
※記念講演は、申し込みとなります。(先着250名)
3) スペシャルコンサート(予定)
一緒に歌って、楽しもう！！



〒970-8026 いわき市平字菱川町1番地の3
TEL：38-6631 FAX：38-6632
Eメール：saigai-vc@iwaki-shakyo.com

いわき市ボランティア活動センター (いわき市復興支援ボランティアセンター) ～掲示板～

ブログ本発行

災害救援（復興支援）ボランティアセンターで起こった数々のエピソードが本になります。スタッフやボランティアさん、被災された方々の想いが綴られた「ブログ本」。

「0246プロジェクト」が開催される3月16日に発行予定。

ボラセンだより・リーフレット発行

ボランティア活動センターでは、「ボラセンだより」や「ボラセンリーフレット」を発行しています。各支所、公民館等でボランティア情報をゲットしよう!!



ブログも更新中

<http://iwakisaigaivc.blog.fc2.com/>

ここからボランティアの 第一歩を踏み出した仲間たち

平成25年11月6日から全5回コースで、地域福祉活動に関心のある方を対象に「福祉レクリエーションボランティア入門講座」を開催しました。

受講者は、講師の七海多美子氏（福祉レクリエーションワーカー）から、ボランティアの第一歩として、「自らが楽しむこと」など、レクリエーションを通して学びました。

第4回目では、特別養護老人ホームパライソごしきにおいて、利用されている高齢者の方々これまで学んだレクリエーションで楽しく交流を図ることができました。



高齢者の方々笑顔で交流する受講者の皆さん

講座申込み及びボランティアに関するお問い合わせ先 ボランティア活動センター ☎ 38-6631 まで !!

いわき市ボランティア基金収益助成結果報告

本会は、いわき市における地域福祉の向上を目指し、福祉活動に関わる地域住民・民間団体の自主的で継続的なボランティア活動を育成・助長することを目的に「**いわき市ボランティア基金**」を設置しています。

これまで、ボランティア活動のための研修会、資機材の整備、福祉教育活動などさまざまな分野へ幅広く助成しています。

◆ **ボランティア基金造成額**
5億51万6,163円

(平成25年3月31日現在)

平成25年度までの助成実績

◆ **助成団体数** 317団体

◆ **助成総額** 7,654万7,868円

【平成25年度助成結果】 15団体 総額271万6,000円

助成団体名	助成額	事業内容
いわき転入女性の会	41,000円	転入女性への情報提供と交流会・子育て支援事業
いわき市ボランティア連絡協議会	82,000円	ボランティア活動普及啓発のための広報紙発行事業
いわき「犬猫を捨てない」会	90,000円	セミナーペット防災事業 (東日本大震災に学ぶ同行避難と日頃の備え)
要約筆記いわきサークル	160,000円	要約筆記に必要な機材整備事業
福祉レクリエーションネットワークinふくしまいわき	160,000円	レクリエーション支援活動に必要な音響整備事業
いわき音楽療法研究所 ミュージックフォレスト	167,000円	音楽ボランティアに必要な機材整備事業
ボランティア組織 クローバー会	190,000円	会報作成及び情報発信に必要なパソコン・複合機整備事業
CAPいわき	194,000円	中学生ワークショップ用カード作成及びクリアファイル作成事業
いわき声の奉仕グループ	198,000円	講習会用プロジェクター整備及びデジタル録音機整備事業
いわき点訳グループ	200,000円	点訳活動のための点字盤整備事業
NPO法人 いわき緊急サポートセンター	200,000円	病児・障がい児を含む子ども一時預かり拠点整備及び広報事業
学校支援ボランティアの会 「ダイヤルこだま・いわき」	200,000円	児童・生徒・保護者の電話相談活動に必要な広報・啓発事業
クローバーミュージックプロジェクト	200,000円	活動をいわき市民に知って頂くための広報事業
子どもの読書環境を豊かにする会	200,000円	講演会開催事業
いわき市社会福祉協議会ボランティア活動センター	434,000円	ボランティア活動保険助成事業及びプロジェクター・ミニコンポ整備事業

ボランティア基金の助成を受けて…

いわき「犬猫を捨てない」会

私たちは、無為に捨てられる犬や猫をなくすため、不妊・去勢の必要性を訴えるとともに、保護し里親を探すなど、人と動物の共生を目的として活動しています。

この度のボランティア基金の助成により、東日本大震災の影響で、家族同然に暮らしてきたペットと一緒に避難することができなかつた飼い主の心のケア、ペットと一緒に避難する方法や身に付けておき

たい基本的な「しつけ」などを学ぶ場として、「ペット防災セミナー（東日本大震災に学ぶ同行避難と日頃の備え）」を開催することができました。

今後もこのようなセミナーを開催するとともに、ペットを心の拠り所としている方々に寄り添い活動に全力で取り組んでいきたいと思ひます。





「日韓共同募金会東日本大震災救援プロジェクト」

韓国共同募金会からの寄付金を活用し、被災者支援を目的とした地域福祉活動事業を実施しています。

平成25年度は、949万円が交付され、次の16事業を実施しています。

事業名	交付額	事業等内容
住民交流事業	4,820,000円	<ul style="list-style-type: none"> あったか～い温泉に入ってリフレッシュ事業（津波被災地域高齢者対象） 春休みの小学生を対象にした子育てサロン事業（小名浜地区） 親子体験教室（勿来地区） お出かけ子育てサロン♪（常磐地区） ふれあい交流事業～好間地区・大熊町・富岡町住民の交流～（好間地区） 遠野地区・田人地区合同子育てサロン（遠野・田人地区） 元気な川前をつくろう！～高齢者と若者のふれあい福祉事業～（川前地区） ふるさとサロン（久之浜・大久地区） 地域ふれあいサロン～民間借上げ住宅入居者を中心としたサロン～ (いわき市復興支援ボランティアセンター) ぼくとわたしの海辺のクリスマス事業 (小名浜地区復興支援ボランティアセンター)
情報提供等を目的とした広報事業	2,990,000円	<ul style="list-style-type: none"> 情報提供等を目的とした広報紙作成 (健康情報カレンダー・ボランティアセンター広報紙・地区社協だより) いわき市災害救援(復興支援)ボランティアセンターブログ本作成
ボランティア関係事業	1,680,000円	<ul style="list-style-type: none"> 傾聴ボランティア・フォローアップ講座の開催 0246プロジェクト(ボランティア感謝の集い) 学生ボランティア視察研修(平地区) ボランティアスクール+1(内郷地区)

◆主な事業の紹介

親子体験教室 8月4日(勿来地区)



勿来市民会館と錦公民館において、なこそ授産所や親子の利用者など60名が参加し、お互いの交流を深める事を目的に「親子体験教室」を開催しました。

料理教室をはじめ、人形語りやミニコンサートなどで楽しい時間を過ごしました。

ふれあい交流事業～好間地区・大熊町・富岡町住民の交流～12月1日(好間地区)



好間公民館において、32名が参加し、「地域での暮らしを支えあおう」をテーマに、講談師の神田織音氏を招き、成年後見制度や認知症についての講演会を開催しました。

また、大熊町と富岡町の仮設住宅集会所において、そば打ち体験や合唱を行い、交流しました。

遠野地区・田人地区合同子育てサロン 11月6日(遠野・田人地区)



いわき市オートキャンプ場において、20組の親子が参加し、地元の社会資源を活用し元気いっぱい子ども達が遊べる機会を作る事を目的に、「遠野・田人地区合同子育てサロン」を開催しました。

餅花を作るなど貴重な体験となりました。

第39回

いわき市総合社会福祉大会を開催!

社協通信



代表受賞者より清水市長・強口会長へ謝辞

福祉施設・団体・ボランティアなど福祉関係者及び市民の方々が一堂に会して、いわき市の福祉を総合的に高めていく「いわき市総合社会福祉大会」(主催=いわき市・いわき市社会福祉協議会)を、平成25年11月18日(月)いわき市文化センターで開催しました。大会の席上、本市の福祉向上発展に多大な活躍をされた方々に表彰を行いました。

- 【市長感謝】 6名
- 【大会会長表彰】 90名
- 【大会会長感謝】 6名 3団体

また、本大会において次の大会宣言が採択されました。

- 1 誰もが住み慣れた地域でその人らしい自立した生活を送れるよう、小地域での福祉活動を拡充し、地域は地域で支え合うまちづくりを進めましょう。
- 1 すべての児童が、よりよい環境のもとで健やかに育成されるよう、地域ぐるみで子育てを支援しましょう。
- 1 高齢者やひとり親家庭などが孤立することなく、安心して暮らせるよう、保健・医療・福祉の連携による地域福祉活動を強化しましょう。
- 1 障がい者保健福祉施策を、より充実させるとともに、すべての障がい者が、社会の一員として正しく理解され、共に暮らせる地域づくりを進めましょう。
- 1 介護保険施設・福祉施設と地域住民との交流を深め、在宅福祉活動の拠点としても活用されるよう、地域ぐるみで支え合いましょう。
- 1 市民の社会福祉に対する理解と関心を高め、ボランティア活動への積極的な参加を進めましょう。
- 1 共同募金が、社会福祉の増進に果たす役割と使命を理解し、募金活動をさらに進めましょう。
- 1 東日本大震災によって被災された方々が生活再建できるよう、地域住民が協働し、被災者支援に取り組みましょう。

第67回福島県社会福祉大会が相馬市で開催されました!

県内の社会福祉関係者が一堂に会し、「第67回福島県社会福祉大会」が平成25年11月15日(金)相馬市民会館で開催されました。



式典の様子

式典では、県内の福祉向上に多大な貢献をされた方々の表彰が行われ、本市からは26名1団体が表彰されました。



大会に参加した本会役員の皆さん

- 【知事感謝】 9名
- 【大会会長表彰】 16名
- 【大会会長感謝】 1名 1団体

車椅子同乗移送用自動車貸出事業

市内に在住する自力で歩行が困難な方の日常生活を支援するとともに、社会参加を促進するため、車椅子同乗移送用自動車を無料で貸し出しています。

こんなときに利用できます。

- 医療機関、公共機関での用事
- 公共団体、社会福祉団体などが行う研修会、講習会などへの参加
- 買い物、スポーツ、行楽

- ◆申込方法：申込用紙の記入(予約制)
- ◆利用できる地域：原則としていわき市内
- ◆利用回数：原則として月2回
- ◆利用期間：原則として1日以内

※申込みの際は、運転免許証と印鑑をお持ちください。

お問い合わせ先
地域福祉課
☎23-3320(代)



車椅子も貸し出しています!

地区協議会だより

いわき市社会福祉協議会は、市内13地区（平、小名浜、勿来、常磐、内郷、四倉、遠野、小川、好間、三和、田人、川前、久之浜・大久）に地区協議会を設置し、『誰もが住み慣れた地域で安全で安心して暮らし続けることができる地域社会』を基本理念に、地域住民の福祉ニーズに合ったさまざまな事業を実施しています。

◆平地区協議会（障がい児・者余暇活動支援事業）



福祉レクリエーションワーカーの七海多美子先生を講師に招き、12月14日に社会福祉センターにおいて、障がい児・者の方とボランティアの方とが、レクリエーションを楽しみました。30名が参加し、会場内特設カフェスペースでクリスマスの雰囲気を楽しみながら交流しました。

◇詳しくは、平地区協議会 ☎22-6441 まで

◆常磐地区協議会（高齢者スポーツ大会）



スポーツを通じて健康増進を図り、親睦を深めることを目的に12月1日に湯本一小体育館で開催しました。約150名の高齢者が参加し、「ボウリング大会」「空飛ぶ円盤」など10競技に汗を流しました。また、いわき総合高校の「総合フラガール」によるフラダンスの披露もあり、笑顔いっぱいの世代間交流も図られました。

◇詳しくは、常磐地区協議会 ☎43-2111 代まで

◆四倉地区協議会（高齢者ふれあいの集い）



地域での世代間交流や社会参加を目的に、11月23日に四倉地区の高齢者を対象に四倉公民館で「高齢者ふれあいの集い」を開催しました。約350名が参加し、

演芸披露や四倉中学校吹奏楽部による吹奏楽演奏を楽しんだ後、婦人会の皆さんの協力による豚汁を頂き、交流を深めました。

◇詳しくは、四倉地区協議会 ☎32-2114 代まで

◆川前地区協議会（青少年福祉体験学習）



民生児童委員、老人クラブ会員、行政嘱託員などの協力により、11月29日に桶売中学校において正月飾りを製作しました。

生徒たちは、地域の先輩方から正月行事の伝統の技を教わりながら、学校生活の良い思い出づくりとなりました。

◇詳しくは、川前地区協議会 ☎84-2111 代まで



昔から、元日には「年神様」という新年の神様が、一年の幸福をもたらすために各家庭に降臨するとされています。その年神様を迎え入れてお祝いし、たくさんの幸せを授けてもらうために様々な正月行事の風習が生まれました。時代が変わっても、この風習が受け継がれているように「思いやりや支え合いの風習」が受け継がれていくよう願います。 広報委員一同

皆様の声をお待ちしています!
いわき市社会福祉協議会では、市民の皆様の声をお待ちしています。手紙、電子メールでお気軽にお寄せください。
住所：いわき市平字菱川町1番地の3（いわき市社会福祉センター内）
ホームページ ▶ www.iwaki-shakyo.com
メールアドレス ▶ master@iwaki-shakyo.com

